

産業建設分科会委員長報告

(R 2 . 9 . 2 4)

産業建設分科会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告します。

まず、**第6号議案、令和元年度 一般会計決算の本分科会所管分**でありませんが、その主なものは、

- ・ 総務費では、地域公共交通対策や防犯灯による交通安全施設整備事業
- ・ 労働費では、雇用対策事業による就労支援
- ・ 農林水産業費では、持続的発展をめざした農業振興施策
- ・ 商工費では、地域経済活性化に向けた商工業振興対策や観光推進事業、「麒麟がくる」推進事業
- ・ 土木費では、安全で快適な生活を支える道路網整備や耐震化促進事業
- ・ 災害復旧費では、農業・林業用施設や公共土木施設の復旧工事費であり、一部、不用額、繰越額もありますが、概ね予算に沿った事務事業が執行されていました。

採決に先立ち、税収も100億円を確保されており、全体を通じて概ね良好に執行されていたとの賛成討論があり、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第11号議案、令和元年度 亀岡市土地取得事業 特別会計決算**であります。京都・亀岡保津川公園用地先行取得に係る長期債償還等が主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第13号議案、令和元年度 亀岡市水道事業 会計決算**であります。施設拡張事業では、老朽化した王子配水池おうじはいすいちを更新及び耐震化するため、西山配水池に送水する送配水管の整備に係る設計業務委託を実施されました。

また、建設改良事業では、老朽管路の耐震化更新工事および千代川浄水場等の送水ポンプ等更新工事の実施により、安全・安心な水道水の安定供給に向けた整備が一層進みました。

経営状況においては、当年度、1億3,387万3千円の純利益を計上しましたが、給水人口の減少等による年間給水量の減少傾向の中、今後も老朽管更新・耐震化等、多くの維持管理経費が見込まれることも踏まえ、これまで以上に健全経営に努めていくことが望まれます。

採決に先立ち、黒字決算であり、概ね良好に執行されていたとの賛成討論があり、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第14号議案、令和元年度 亀岡市下水道事業 会計決算**であります。公共用水域の水質保全を図り、良好な生活環境を確保するため、建設事業においては、公共汚水枡の設置工事や管渠の布設工事、年谷浄

化センターの改築更新事業が実施されたほか、放流水質向上の取り組みとして、同センターの高度処理化工事も推進されました。

経営状況においては、当年度、4億236万7千円の純利益を計上しましたが、今後の施設整備においても多額の経費が見込まれる中、安定して事業継続できるよう、水道事業と同様に、より一層の経営努力が求められます。

採決に先立ち、黒字決算であり、概ね良好に執行されていたとの賛成討論があり、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、**第48号議案、令和元年度 水道事業会計 未処分利益剰余金の処分について、及び、第49号議案、令和元年度 下水道事業会計 未処分利益剰余金の処分についての2議案は、それぞれの会計決算における当年度末残高で生じた未処分利益剰余金を、資本金に組み入れるものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。**

以上、簡単ではありますが、本分科会の報告といたします。

《産業建設分科会》

令和2年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

番号	事業名	評価	意見等
1	農業担い手づくり育成事業経費	1 拡充	○農家所得の向上に向け、現事業の見直しを行うとともに、新規就農者の育成等に係る専任マネージャーの充実とともに、亀岡農業をマネジメントできる人員を配置することにより、集落営農等が安定して維持・発展できるよう一層努力されたい。
2	商工業振興対策経費(かめおか元気企業支援事業補助経費、かめおか元気商店街等支援事業経費)	1 拡充	○亀岡商工会議所とさらに連携を深め、事業内容を見直し、しっかりと予算を確保されたい。また、各事業を一過性で終わらせるのではなく、どのように将来につなげていくのかについてのチェック体制を整えられたい。
3	観光推進経費(亀岡市観光協会運営費補助経費、亀岡市観光協会宣伝事業等補助経費)	1 拡充	○コロナ禍にある社会情勢を鑑み、観光施策をスクラップ・アンド・ビルドにより見直し、亀岡市観光協会や森の京都DMO等と連携強化を図り、行ってみたいまち、住みたいまち亀岡を目指し、シティープロモーションにつながるよう、より一層充実した取組とされたい。